

# 外国語活動学習指導案

学習者 附属小学校2年2組34名

指導者 丸尾 剛廣 (2/3 モ②)

学習者 附属小学校2年3組33名

指導者 蔦谷 友之 (2/3 モ③)

## 単元名 「くしゃぎゅっち」のかんしょうクイズ大会をしよう

### 1. 単元の目標

かんしょうクイズ大会をして、学年の友達作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、生き物の体の部分について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

※なお、本単元における「聞くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

### 2. 単元について

必然性	学年の友達作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、生き物の体の部分について、尋ねたり答えたりする。
リアル感	生き物の体の部分についてのかんしょうクイズを作って、尋ねたり答えたりするためのキーセンテンスとコミュニケーション
楽しさ	学年の友達とかんしょうクイズで交流して、自分の作品のお気に入りの部分を知ってもらったり、友達作品のよさや工夫を知ったりする楽しさ
相手意識	作品を作った人や、自分の作品を見てくれた人に、お気に入りの部分や感想を分かりやすく伝えようとする意識

### 3. 言語材料 (下線は新出表現)

○What's this? It's ~. 体の部分を表す言葉(eyes, ears, nose, mouth, head, shoulder, arms, hands, legs, feet, hip)

[既出] 動物を表す言葉(mouse, cow, tiger, rabbit, horse, sheep, monkey, bird, dog, cat, elephant)

[期待する既習表現] I like~. It's~.形容詞(cute, big) That's right. Close.

#### 4. 該当する学習指導要領における領域別目標と、本校における Challenge リストとの関連

話すこと 〔やり取り〕	中学年外国語活動の 学習指導要領 【CS】	イ自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。
	Challenge リスト 【CL】	(イ) 自分の名前、体調や気分など自分のこと及び動物や食べ物、花など身の回りの物について、聞き取りやすい声の大きさと話したり、動作や表情を交えたりするなど相手に伝わる工夫をしながら話したり聞いたりして伝え合おうとする。

#### 5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やり取り〕	生き物の体について、It's~. What's this? などを用いて尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	学年の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合っている。	学年の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

#### 6. 「話すこと〔やり取り〕」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画（3時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）	評価			
		知技	思判表	態度	◎評価の観点（評価規準）（方法）
図工	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     自分が好きな生きものをえらんで、「くしゃぎゅっち」を作ろう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「紙をくしゃくしゃしたり、ねじったり、丸めたり、ひもで結んだり、いろいろな技を使って表し方を工夫してみよう。」</li> <li>・「自分の作りたい生き物ができたよ。友達の『くしゃぎゅっち』も見てみたいな。どんなところがすてきかな。自分とはちがうのかな。」</li> </ul> （鑑賞の評価は、図工の時間に学級内で行う。）				
モ①	◆生き物の体を表す英語の言い方に慣れ親しむ。 ○Greeting ○動画を視聴し、本單元最後のコミュニケーション活動の流れを確かめる。 ○単元を通した目標について知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     学年の友だちと「くしゃぎゅっち」のかんしょうクイズ大会をしよう。                 </div> ○本時のめあてについて知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     体のぷいぷんを表す言い方になれよう。                 </div> ○ピクチャーカードを見ながら、HRT と一緒に発				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

	音し、生き物の体を表す英語表現に慣れ親しむ。				
モ ②	<p>○♪オリジナル Body Song を聞いたり歌ったりして、生き物の体を表す英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>○HRT の話や HRT と数名の児童とのやりとりを通して、生き物の体を表す英語表現を何度も聞いたり話したりする。(生き物の体の一部をアップにした What's this?クイズ)</p> <p>○タブレット端末で What's this?クイズ作りに取り組む。</p>				
モ ③	<p>○♪オリジナル Body Song を聞いたり歌ったりして、生き物の体を表す英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>○クラスの友達と What's this?クイズに取り組む。(ペア→グループ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>児童 1 : (タブレット端末を見せながら) What's this?</p> <p>児童 2 : It's ears.</p> <p>児童 1 : Yes. What's this?</p> <p>児童 3 : It's hands.</p> <p>児童 1 : Good. What's this?</p> <p>児童 2 : It's mouth.</p> <p>児童 1 : Close.</p> <p>児童 3 : It's nose.</p> <p>児童 1 : That's right. What's this?</p> <p>児童 2 : It's a tiger.</p> <p>児童 1 : That's right.</p> </div> <p>○HRT のコメントを聞き、学習を振り返る。</p>				
2	◆生き物の体を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しみ、「くしゃぎゅっち」のかんしょうクイズについて、クラスの友達と尋ねたり答えたりする。				
モ ①	<p>○Greeting</p> <p>○♪オリジナル Body Song を歌い、生き物の体の英語表現を確かめる。</p> <p>○HRT のやり取り (かんしょうクイズ) を通して、本時の活動の見通しをもつ。</p> <p><b>○本時のめあてについて知る。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>クラスの友達と「くしゃぎゅっち」の作ひんについてたずねたり答えたりしよう。</p> </div> <p>○ペアでかんしょうクイズの練習をする。</p>				
本 時 モ ②	<p>○HRT と数名の児童のやり取りを通して、かんしょうクイズについて尋ねたり答えたりする。</p> <p>○グループ (2~3人) でかんしょうクイズについて尋ねたり答えたりする。(1人2分程度)</p>	ヤ			

	<p>[想定される児童の姿]          児童 1 : (タブレット端末を見せながら)              Hint1. What's this?          児童 2 : It's ears.          児童 1 : Yes. Hint2. What's this?          児童 2 : It's hands.          児童 1 : Close.          児童 3 : It's feet.          児童 1 : Good. Hint3. What's this?          児童 2 : It's mouth.          児童 1 : That's right. It's mouth. What's this?          児童 2 : It's a rabbit.          児童 1 : That's right. It's a "作品名".          児童 2 : I like long ears.          児童 1 : Thank you!          児童 3 : It's cute.          児童 1 : Thank you!</p> <p>○友達に尋ねたり答えたりする際に大切なことを出し合う。</p>			<p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価          ◎生き物の体について、It's～.What's this?などを用いて尋ねたり答えたりしている。          〈行動観察・動画分析〉</p>
<p>本時モ③</p>	<p>○前時とは別のグループでかんしょうクイズに取り組む。          ○ほめ言葉や、それを伝え合う際の困りを出し合い、後半のやりとりに生かせるようにする。          ○HRT のコメントを聞き、学習を振り返る。</p>	<p>や</p>		<p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価          ◎かんしょうクイズについて、既習表現やクラスルームイングリッシュを使って、相手に伝わるよう工夫しながら、尋ねたり答えたりして伝え合っている。          〈行動観察・動画分析・振り返りシート記述点検〉</p>
<p>3 モ①</p>	<p>◆学年の友達の作品のよさや工夫を知るために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○Greeting          ○♪オリジナル Body Song を歌い、生き物の体の英語表現を確かめる。  <b>○本時のめあてについて知る。</b>          学年の友達と「くしゃぎゅっち」の作ひんについてたずねたり答えたりしよう。          ○HRT と数名の児童のやり取りや前時の振り返りを通して、本單元最後のコミュニケーション活動に向けて大切なことを確かめる。          ○ペアでかんしょうクイズの練習する。</p>			
<p>モ②</p>	<p>○学年の友達とグループ (3～4人) を作り、かんしょうクイズ大会を行う。(1人2分程度)</p> <p>[想定される児童の姿]          児童 1 : (タブレット端末を見せながら)              Hint1. What's this?          児童 2 : It's ears.          児童 1 : Yes. It's ears.              Hint2. What's this?          児童 2 : It's hands.          児童 1 : Close.</p>	<p>や</p>	<p>や</p>	<p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価          ◎かんしょうクイズについて、既習表現やクラスルームイングリッシュを使って、相手に伝わるよう工夫しながら、尋ねたり答えたりして伝え合っている。          〈行動観察・動画分析〉</p>

	<p>児童 3 : It's feet.  児童 1 : Good. It's feet.  Hint3. What's this?  児童 2 : It's mouth.  児童 1 : <u>That's right.</u> It's mouth.  What's this?  児童 2 : It's a rabbit.  児童 1 : <u>That's right.</u> It's a “作品名”.  児童 2 : <u>I like long ears.</u> It's cute.  児童 1 : Thank you!  児童 3 : <u>I like red eyes.</u> It's good.  児童 1 : Thank you!</p> <p>○ほめ言葉や、それを伝え合う際の困りを出し合い、後半のやりとりに生かせるようにする。</p>			<p>◎かんしょうクイズについて、既習表現やクラスルームイングリッシュを使って、相手に伝わるよう工夫しながら、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。  〈行動観察・動画分析・振り返りシート記述点検〉</p>
モ ③	<p>○前時とは別のグループを作り、かんしょうクイズ大会を行う。</p> <p>○HRT のコメントを聞き、学習を振り返る。</p>	や	や	

7. 本時の指導 (授業者 丸尾 剛廣)

単元名	「くしゃぎゅっち」のかんしょうクイズ大会をしよう 2/3時間 モジュール②
本短時間学習のねらい	生き物の体について、グループで「くしゃぎゅっち」のかんしょうクイズを出し合い、作品の感想を伝え合う活動を通して、It's~. What's this?などを用いて尋ねたり答えたりできるようにする。
準備 (評価規準)	黒板掲示用キーセンテンス 黒板掲示用ピクチャーカード タブレット端末 生きものの体について、It's~. What's this?などを用いて尋ねたり答えたりしている。
具体的な児童の姿	生き物の体について、尋ねたり答えたりする姿。 「What's this?を使って尋ねることができた。」 「3つのヒントを、相手の目を見ながら伝えることができた。」

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価(方法)※支援を要する児童への手立て	準備物
2分	<p><b>Greetings</b></p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p><b>Warming up</b></p> <p>○♪オリジナル Body Song</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の言いやすいスピードに調整しながら、楽しく歌えるようにする。</li> </ul>	
1分	<p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>クラスの友達と「くしゃぎゅっち」の作ひんについてたずねたり答えたりしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と本時のめあてを確認する。</li> </ul>	黒板掲示用 キーセンテンス 黒板掲示用ピク チャーカード
8分	<p><b>Activities</b></p> <p>○グループで体の部位について尋ねたり答えたりする。</p> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>児童1：(タブレット端末を見せながら) Hint1. What's this? 児童2：It's ears. 児童1：Yes. Hint2. What's this? 児童2：It's hands. 児童1：Close. 児童3：It's feet. 児童1：Good. Hint3. What's this? 児童2：It's mouth. 児童1：That's right. It's mouth. What's this? 児童2：It's a rabbit. 児童1：That's right. It's a “作品名”. 児童2：I like long ears. 児童1：Thank you! 児童3：It's cute. 児童1：Thank you!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中、中間指導を取り、かんしょうクイズの伝え方が分かりやすかった友達の工夫について尋ね、全体で共有する。</li> <li>グループでのやりとりを動画に撮り、評価に生かせるようにする。</li> </ul> <p>◎生きものの体について、It's~. What's this?などを用いて尋ねたり答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・動画分析〉</p> <p>※生き物の体の部位について尋ねたり答えたりする言い方に困っている児童には、一緒に言い方を確認したり、HRTの後に繰り返して発話したりするようにして、生き物の体を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しめるようにする。</p>	タブレット端末
3分	<p>○友達と尋ねたり答えたりする時に大切なことを確認する。</p> <p>[想定される児童の姿]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジェスチャー 大きく</li> <li>アイコンタクト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導で共有したことから、自分のやりとりに取り入れられた工夫を共有し、友達と尋ねたり答えたりする時に大切なことについて、考えを広げられるようにする。</li> </ul>	タブレット端末

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスルームイングリッシュ(緑)</li> <li>・伝わっているかどうか、OK?などを聞いて確かめる。</li> <li>・繰り返し</li> </ul>		
1分	<p><b>Comments</b></p> <p>○HRTのコメントを聞く。</p> <p><b>Greetings</b></p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と振り返りを共有し、次時の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>	

7. 本時の指導 (授業者 蔦谷 友之)

単元名	「くしゃぎゅっち」のかんしょうクイズ大会をしよう 2/3時間 モジュール③
本短時間学習のねらい	生き物の体について、グループで「くしゃぎゅっち」のかんしょうクイズを出し合い、作品の感想を伝え合う活動を通して、既習表現やクラスルームイングリッシュを使って友達の作品のよさを伝えるようにする。
準備 (評価規準)	黒板掲示用キーセンテンス 黒板掲示用ピクチャーカード 振り返りシート タブレット端末 学年の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合っている。
具体的な児童の姿	生き物の体について、尋ねたり答えたりし合ったり、既習表現を使ってほめ言葉を伝えたりする姿。 「I like~. It's~. を使って、友達の作品のよさを伝えることができた。」 「友達の作品のよさを2つ伝えることができた。」

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価(方法)※支援を要する児童への手立て	準備物
1分	<b>Greetings</b> ○はじめのあいさつをする。		
1分	○本時のめあてについて知る。 クラスの友達と「くしゃぎゅっち」の作ひんについてたずねたり答えたりしよう。	・児童と本時のめあてを確認する。	
2分	<b>Activities</b> ○前時の活動を振り返り、友達と尋ねたり答えたりする時に大切なことを確認する。 [想定される児童の姿] ・ジェスチャー 大きく ・アイコンタクト ・クラスルームイングリッシュ(緑) ・伝わっているかどうか、OK?などを聞いて確かめる。 ・繰り返し ○HRTの「くしゃぎゅっち」について、ほめ言葉を考え、出し合う。	・HRTは児童から出された工夫を再掲示し、前時の学習を振り返るようにする。 ・「I like~.」「It's~.」を使ったほめ言葉の言い方に加え、児童から出された表現の仕方を、全体で共有できるようにする。	黒板掲示用キーセンテンス 黒板掲示用ピクチャーカード
8分	○前時とは別のグループをつくり、かんしょうクイズに取り組む。 [想定される児童の姿] 児童1：(タブレット端末を見せながら) Hint1. What' this? 児童2：It's ears. 児童1：Yes. It's ears. Hint2. What' this? 児童2：It's hands. 児童1：Close. 児童3：It's feet. 児童1：Good. Hint3. What' this? 児童2：It's mouth. 児童1：That's right. It's mouth. What' this?	・途中、中間指導を取り、ほめ言葉や、それを伝え合う際の困りを出し合い、全体で共有することで、後半のやりとりに生かせるようにする。 ・グループでのやりとりを動画に撮り、評価に生かせるようにする。 ◎学年の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合っている。 〈行動観察・動画分析〉 ※生き物の体の部位について尋ねたり答えたりする言い方に困っている児童には、一緒に言い方を確認したり、HRTの	タブレット端末



	<p>児童2 : It's rabbit.          児童1 : That's right. It's "作品名".          児童2 : I like long ears. It's cute.          児童1 : Thank you!          児童3 : I like red eyes. It's good.          児童1 : Thank you!</p>	<p>後に繰り返して発話したりするようにして、生き物の体を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しめるようにする。</p>	
3分	<p><b>Comments</b>          ○本時の振り返りをする。          ○HRT のコメントを聞く。  <b>Greetings</b>          ○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HRT は児童の振り返りを見取り、単元ゴールに向けての目標や本時の自分の成長などを書いている児童を確認する。</li> <li>• 児童と振り返りを共有し、次時の見通しをもつことができるようにする。</li> <li>◎学年の友達作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合っている。          〈振り返りシート記述点検〉</li> </ul>	振り返りシート